

小林軍治さんをしのぶ会



題字 原田 親

No. 997

2023/5/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都台東区浅草橋2-2-5
日中ビル5F
電話 03(5829)2141(代)
FAX 03(5829)2141
http://www.jcf.or.jp
E-mail:okch@jcf.or.jp
郵政 10119-1-2178

日中友好協会
岡山支部
〒700-0034
岡山市北区下伊福
西野1-53 民生会館1F
TEL: FAX(086)250-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8033
倉敷市福河町東2-461-45
TEL: FAX(086)481-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
メールアドレス
nicchuokayama@yahoo.co.jp



スライドを上映しながら説明する則武弁護士

標記の会が、2023年4月30日の日曜日、13時から岡山国際交流センター8階のイベントホールで開催されました。
当日参加者は88人でした。協催された10団体と2個人の方々が集い、会場は一杯でした。
最初に日中友好協会会長井上久士さんから寄せられたメッセージを紹介、次いで、日中友好協会岡山県支部連合会会長の宇野さんから開会のあいさつ、高退教の萱さんの発声で献杯を行いました。

真田紀子



発言する青木さん

お食事をしながら、中国残留孤児国家賠償請求訴訟弁護団の則武さんからスライドを使って、小林さんと中国残留孤児国家賠償請求訴訟のかかわりを丁寧に説明していただきました。
そこで初めて2003年8月27日に小林さんが、帰国者の方々と弁護士事務所を訪れ相談されたことを知りました。12月14日から残留孤児に対する集団聞き取りが行われてから、長い付き合いが始まります。全国各地で同様の訴訟が提訴されていました。
則武弁護士と奥津弁護士は、小林さんと中国へ行き、残留孤児の皆さんの体験をたどられています。
2007年11月 中国残留邦人支援法改正案」が衆参全会一致で可決され、2008年2月

岡山地裁での提訴を取り下げました。
次が青木先生によるスライドを映しながらの、中国訪問の旅のお話です。中国東北部では、日本人が侵略者であることは住民にとって忘れられない事実です。それにもかかわらず何度も訪問を重ねていくうちに、打ち解け、一緒にカラオケまで歌う仲になっていく様子が、小林さんの笑顔が、心に響きます。
操南9条の会の近藤さん、共産党岡山県議の氏平さん、高退教の田中さん、国民救援会の竹原さん、華僑華人総会の劉さんと、小林さんとの思い出を語られました。
ここで一服の意味もあり、小川さんの太極拳表演の予定でしたが、軽く身体をほぐす運動をした後、彼女の小林さんへの思いがあふれるお話しになりました。



献杯する参加者

次は高杉さんの二胡の演奏です。故郷など4曲を演奏していただきました。
人権21の小出さん、日中友好協会岡山支部の河井さん、倉敷支部の犬飼さんの発言の後、帰国者の高見さんの発言の時には、通訳として馬小菲さんお手伝いいただきました。帰国者の山根さん、介護施設 いほりの井堀ご夫妻、通訳の馬さん、共産

党岡山市議の宿女さん(彼女は小林さんが長年勤務した岡山南高校の卒業生)は、涙ぐんでお話しされていました。



発言する高見さん

その後は、発言したい人を募りました。帰国者の高杉さんが、やはり発言したいと手をあげられ、ほぼ日本語で、思いを語られました。

脇本さんが勝山高校の話しが出なかつたので、小林さんの新任高校であつた勝山での思い出を語られました。ちなみに愛子夫人も勝山高校の卒業生です。青春の1ページを見る思いのお話しでした。



氏平県議

もうお一人、帰国者2世の山中山さんです。今は介護施設「ほり」で働かれています。思いがあふれて、ことばにするのが難しいようでした。



発言する山中さん

最後に愛子夫人から参加の皆さんにお礼の言葉がありました。

「こんなに大勢の方が主人の思い出を語ってくださるなんて、想像もしていませんでした。ありがとうございます。とのことでした。閉会のあいさつをしてくださったのが奥津弁護士です。

小林さんありがとうございます！やすらかに眠りください。」

あいさつする愛子さん



百科検定推進会議

小川涼子

4月24日にオンラインであった第13回・第14回中国百科検定推進会議に参加しました。

甲国百科検定は日中両国の関係改善のためには、まず相手国への理解を深めることが大切との思いから誕生した、日中友好協会主催の検定試験です。中国に関する知識を多方面から問う、ユニークな試験です。

会議では、受験者どうやうやって増やすか、新テキストをどう活用するかなどについて話し合われました。

7月の第13回は、会場が少ないので、今からでも会場を設営できるところはやってほしい、とお知らせもありました。が、地方の小さな支部では難しいことを伝えました。また会場を設けられないかわりに、近隣他県での小旅行もかねた受験を考えていると伝えました。

中国残留孤児は どうして 生まれたのか？

凍土となる中国「満州」の大地に取り残され、苦難の人生を歩んできた中国残留日本人孤児及び残留婦人とその家族が存在しました。祖国日本への帰国が始まって約42年、今こうした人たちはどのように日本で暮らしているのか。

残留孤児が生まれた背景と、歴史を青木康嘉さんに語っていただきます。

併せて、中国残留邦人支援法が改正されて15年が経過した「いま」の中国帰国者の実情を知ってほしいと思います。多数の皆さまのご参加をお願いいたします。

日程： 5月21日(日)
時間： 14:00~16:00
場所： 岡輝公民館
参加費： 無料

トルコ・シリア大地震復興支援 チャリティコンサート

小川涼子

5月5日 トルコ・シリア大地震復興支援チャリティコンサートが、岡山国際交流センターで開かれました。華僑華人総会の劉会長の呼びかけで、音楽や舞踊をメインに空手や太極拳の演武もありました。日中友好協会からは、太極扇の演武とスタッフとしての活動で参加しました。

イベントの参加者は250人を超え、募金総額は22万5041円と1500円でした。このチャリティイベントは継続的支援を行うために、11月12日(日)に第2回をハレノワで開催する予定です。



次回の新聞発送作業は5月30日(火)午前10時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

河井内 竹